

シェルパ基金

Sherpa Funds



1999年5月13日、多くのシェルパと共にエベレスト登頂。エベレストをはじめヒマラヤの8000m峰では、シェルパの協力なしに登頂することは困難です

シェルパ基金とは

シェルパ基金は、ヒマラヤ登山隊に参加・協力して事故・遭難にあったシェルパ及びその遺族を支援・援助する国際協力活動です。

野口健がヒマラヤに足を踏み入れて10余年の歳月が経過しましたが、その間トレッキングや世界最高峰エベレスト登頂(1999年、世界7大陸最高峰最年少登頂記録達成)、登頂を目的としないエベレスト清掃登山など、多くの活動をしてまいりました。日本をはじめ世界中の登山隊が夢を達成できるのもシェルパの協力・サポートによるものと心底から考えています。

しかし、毎年遭難や事故にあうシェルパは少なくなく、残された家族への補償や、事故にあったシェルパへの医療やケアは十分ではありません。山に生命と夢を賭けるものとして、シェルパ基金を設立いたしました。

活動計画

遭難シェルパの子女の育英奨学金

ヒマラヤ登山隊などに参加・協力して事故・遭難にあったシェルパの子女に対して育英奨学金(授業料・寮費など)を給付します。

2002年5月より2名の遺児への支援が始まっています。2003年以降は毎年3名ずつを加え、奨学金援助を行います。

将来の活動

- ①残された家族が自立するためのジョブ・トレーニングなど
- ②怪我や後遺症に苦しむシェルパに対するリハビリ、治療援助など
- ③シェルパ社会の実態調査、過去の遭難事故についての情報収集と実態調査

※具体的活動については、ネパールと日本の双方の関係者からなる委員会で決定いたします。

野口 健からのメッセージ

1999年、親友のナティーシェルパがヒマラヤで雪崩に巻き込まれ命を落としたという訃報が、日本にいた僕に届きました。そして、急遽ヒマラヤに飛んだとき、兄デンディーの「私たちは好きで山に登っているのではない。山に登らなければ生活していけないんだ。」との訴えも、僕に衝撃を与えました。

シェルパ達の山での死を我々登山隊側はどのように受け止めるべきなのか、ナティーの死は僕に大きな課題を与えてくれました。ヒマラヤの登山は、シェルパ達の協力なくしてはありえません。しかし、同時に彼らを危険な場所へと追いやっています。自己矛盾の中で悩みました。シェルパにとっても我々と山に登らなければ生きゆけない現実もあります。どちらも必要不可欠な関係であるにもかかわらず、我々登山隊とシェルパ達の関係が果たして「共存共栄」であったのだろうか、長いヒマラヤ登山の歴史の中でシェルパらに対して一方的な扱いを行ってこなかったと誰が断言できるでしょうか。

そして僕なりに自身の贖罪も含めて固く決意をしたのが「シェルパ基金」の設立でした。ナティーの遭難碑を訪れる度に「必ず基金は作るから、もう少し僕に時間をください。」と手を合わせていました。そして、ここようやく「シェルパ基金」をスタートさせることができました。「登山隊」と「シェルパ」との共存共栄の関係を築いていく上で、この「シェルパ基金」が少しでもお役に立ち、無念の死を遂げたナティーや多くのシェルパ達へのはなむけになればと切に願います。



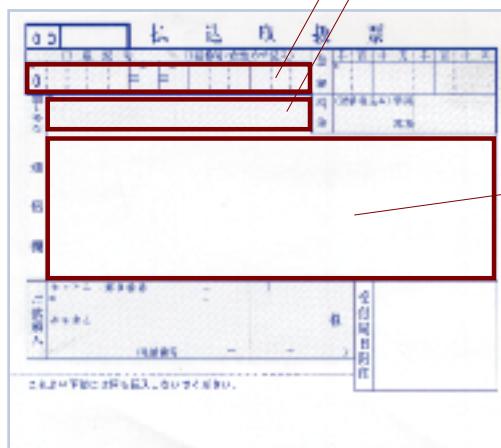
2002年度からシェルパ基金により、マウント・カイラス校に通学できることになったバサン・リンジ・シェルパ君(右)とダワ・ラム・シェルパちゃん(左)

シェルパ基金へのご寄付のお願い

本基金の趣旨にご賛同いただける方（個人・団体・企業等）からの寄付金を募集しています。金額はいくらでも結構です。基金運営に役立てさせていただきます。シェルパ基金の活動内容については、インターネットホームページ（www.actions.jp）をご参照下さい。

- ①ご寄付は郵便局での郵便振替でお願いいたします。
【口座番号】 00110-5-574144
【加入者名】 シェルパ基金
- ②入金が確認された後、通信欄にご記入された連絡先へ「受領確認」の通知をお送りいたします。ご不要な方は「通信欄」に〈受領確認不要〉とご記入ください。通信費を節約させていただいた分、活動費に使わせていただきます。
- ③受領確認が不要の方は、「受領確認不要」と、明記下さい。
よろしければ、ご連絡先（およびEメールアドレス）をご記入下さい。

＜払込取扱票 ご記入方法＞



- 口座番号を「00110-5-574144」ご記入下さい
- 加入者名を「シェルパ基金」とご記入下さい

- 受領確認が不要の方は、
〈受領確認不要〉と、明記下さい。また、よろしければ
「FAX番号」「Eメールアドレス」をご記入下さい。
(第三者へ開示することはありません)



NPO法人セブンサミツ持続社会機構(SSASS)とは

20世紀は、人口爆発、それに伴う食糧不足、資源エネルギーの枯渇による危機、自然環境破壊が進みました。21世紀は、個人、企業、地域、また国レベルで行う全ての活動は全地球レベルの環境保護を念頭において行わなければなりません。2000年からのエベレスト清掃登山活動等を通じて全地球環境保護と国際協力の必要性を痛感し、野口健を中心に立ち上げたのがNPOセブンサミツ持続社会機構（Seven Summits Actions for Sustainable Society）です。2002年9月には特定非営利活動法人（NPO法人）として認証されました。

主な活動は、①地球の環境保全、②環境教育および人材育成、③国際協力活動、です。

2003年1月よりシェルパ基金は、NPO法人セブンサミツ持続社会機構の国際協力活動の一環として引き継がれました。



NPO法人 セブンサミツ持続社会機構 シェルパ基金事務局
Seven Summits Actions for Sustainable Society

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻 2-17-19
2-17-19, Tsurumaki, Setagaya-ku, Tokyo 154-0016 Japan URL: www.actions.jp